

株式会社落雷抑制システムズ

神奈川県横浜市

海外

地域

わざ

人材

ものづくり

サービス

独自技術に基づく落雷抑制装置を開発し、世界的機関での認証を取得して販路確立

- 当社は欧州企業の製品に独自の改良を加えた落雷抑制装置(PECE避雷針)を販売している
- 落雷のみならず自然エネルギーの活用などの分野で特許23件、意匠登録/商標登録など13件など知財対策を徹底している

企業基本情報

所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目2-1 横浜ランドマークタワー4406
電話/FAX	045-264-4110/045-264-4110
URL	http://www.rakurai-yokusei.jp
代表者	松本 敏男
設立	2010年
資本金	2,000万円
従業員数	3人



会社概要

同社は社名のとおりに周囲に落雷を発生させないような特殊避雷針を開発/製造/販売をしている。地球温暖化などにより、気象の極端現象で落雷が増える中、電子機器が多用されるICT社会は雷電流に脆弱な社会となり落雷による被害も増えている。その中で社会の重要インフラを落雷から護るために、国土交通省、自衛隊、通信会社、電鉄会社などのお手伝いをしている。

無線鉄塔への取付事例



革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

世界で認められた、独自技術に基づく落雷抑制装置を開発

従来の避雷針は、「雷を避ける針」と書きながら、実は雷をそこに誘導しているもので、発明当時はオイルランプの時代であったため雷電流の影響はなかったが、今や電気を使用しない場面はほぼ皆無である。積極的に落雷を受入れる方法はICT時代にはそぐわないものとなり、雷電流はなるべく受けないようにするのが得策である。とは言え、今までの方式とは異なる製品を認めてもらう事は困難であった。「無い事」の証明は「有る事」の証明より困難であり、また、自然界を相手に常に100%の効果と言うのもあり得ない。その様な中で検証実験も進めながらの営業活動により、導入されたお客様からの事故が少なくなったという印象でリピート注文が続き、今年3月までで約900台、今年度末には1,000台の大台を目指している。元は海外の技術であるが、日本独自の改良を重ね、煙突用で用いる高温用は清掃工場や発電所で使用され、また、従来は固定設備であった避雷設備を高所作業車に載せて夏場の音楽イベントや花火大会など大勢の人が集まる場所で「必要な場所に」「必要な期間のみ」というような使い方で、落雷事故の削減に寄与している。

同社製品「PDCE避雷針」



革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組のポイント

コストと手軽さを強みに公共施設等での販路を確立

競合製品と比べ、製品価格で1台50~400万円の手軽さと保守費用が無用、岩塩投入という環境汚染の心配も無く利用できる。昨今の異常気象による落雷の増加、ICT化による社会の脆弱化、人命第一など、社会環境の変化に即した製品をタイムリーに開発している。この技術をさらに拡大し、落雷対策のトップランナーを目指している。非常に高い確率で落雷を防げることを実証しながら販売を進めて行く。

防球ネットへ取付事例

